



物理部チーム「Remember」教育長に報告

7月5日（水）から10日（月）までフランス・ボルドーの Parc des Expositions de Bordeaux で開催された RoboCup23 に本校物理部のチーム「Remember」（3年環境科学科：岸田健吾さん・吉川優芽さん・溝上幸太さん）が出演し、レスキュー・ライン部門で**28チーム中4位**の成績を収めるとともに、**OUTSTANDING INNOVATION AWARD（アウトスタンディングイノベーションアワード）**を獲得しました！また、スーパーチームという、他国のチームと共同で参加する競技では**14チーム中2位**の成績を収めました！（SSH ニュース第17号）。

8月7日（月）、和歌山県庁で宮崎泉教育長らに大会の報告とロボットの実演を行いました。

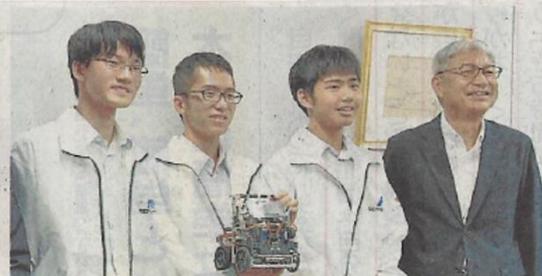


ロボカップ 世界4位 向陽高校生教育長に報告

ロボットの競技会「ロボカップ」で、国内大会を勝ち抜いた県立向陽高校の3年生3人が、先月フランスであった世界大会に出場し、4位の成績を収めた。同校が世界大会に出場したのは、昨年初めてで2年連続。7日に県庁で教育長に結果を報告した。

ロボカップは人の操作によつてではなく、自ら考えて動く自律移動型ロボットでの競技会。世界大会「ロボカップ23」に出場したのは向陽高環境科学科で物理部

⑤向陽高校3年の（左から）溝上さん、岸田さん、吉川さんと宮崎教育長⑥大会報告ではロボットが球を回収する実演をした11人も県庁



に所属する岸田健吾さん、溝上幸太さん、吉川優芽さんだ。

出場したのは「レスキューライン」という種目で、ロボットが競技スペース内に敷かれた線を追い、災害の被災者に見立てた球を回収する精度を競う。3人は1年ほど前から構想を始め、プログラムを設計し学校の3Dプリンターを使うなどしてロボットを作った。

ロボットの特徴はカメラを搭載し、画像処理の技術を組み込んだ点だ。世界大会では課題物の検出と回収に使った。製作内容をまとめた書類の審査と競技の点数を合わせ、28チーム中4位に輝いた。

7日は県庁で宮崎泉教育長らに大会の報告とロボットの实演をした。昨年も出場した岸田さんは「去年8位だったことが悔しく、1位をめざしてきた。4位だったが、やりたいことは実現できた。特別賞ももらい、評価してもらえたと嬉しい」と話した。（神原織和）

朝日新聞（令和5年8月9日）

【8・9月の主なSSH事業の予定】

- 8月25日（金） 学問・職業研究発表（高校1年生対象）
- 9月 1日（金） 向陽防災科学講座Ⅰ（高校1年生対象）
- 9月15日（金） 中高環境ポスターセッション（高校1年生環境科学科・中学3年生対象）